



## 校則見直し委員会を開催しました！

2月21日(金)13:15～校則見直し委員会&学校指定物品検討委員会を児童代表、保護者代表、職員代表で行いました。

先日の代表委員会での話し合いを受けて、決まった内容を計画委員会の人たちがみんなに伝えてくれました。そして、フロアからも質問や意見をもらい、最終的には、以下のように決定しました。(今回は、内容の中から2つに絞り、全校児童で丁寧に話し合いを行い、議論しています。)



①放送は、動きを止めて静かに聞きましょう。

→(改訂版)放送は、静かにしゃべらず聞きましょう。

②髪の長い人は結びましょう。※髪を結ぶゴムや留め具は華美でないものにしましょう。(黒・紺・茶など)

→(改訂後)髪のはきは、場面に応じて結びましょう。(体育、給食、実験、調理実習、先生の指示があった時)  
髪留めやゴムは、飾りのないものを使う。



①については、「動きを止めて」までは必要はないのではないかという視点で議題に上がっていました。低学年の意見は、「大事なことがよく聞こえるように『動きを止める方が良い』』と言う意見が多かったようです。しかし、高学年に上がるに従い、「動きを止めるか、止めないか」ではなく、静かに聞くことが大切だという意見が出て、最終的には上記の形になりました。

②については、「髪型について自由にしても良いのではないか」という視点から議題に上がりました。「自分で判断することが大切だ。」「周りの友達に迷惑をかけるかどうかの基準で、考えるといい。」「表記の仕方は、分かりやすい方がいい。(〜など)と書かれても、その読み取りがバラバラになる。」「安全面や衛生面は考えた方がいい。」等、活発な意見が代表委員会でも出ていました。

そして、最終的には、全校児童の意見を吸い上げ、計画委員会で上記の文言にまとめました。

話し合いのプロセスも貴重な経験の時間であったと思います。

保護者の方々からは、「『若葉っ子の暮らし』の存在についても詳しくは、知らなかったです。夏休みや冬休み前に配布されていたものは見ていたが、改めて知ることができました。」や「『若葉っ子の暮らし』と「校則」というのが結びつかなかったです。」「保護者も、しっかり読み込めていない人がいるのではないのでしょうか。」等、貴重なご意見もいただきました。

この『若葉っ子の暮らし』は、ホームページにも掲載されています。その中に「本校では、熊本市小中学校の申し合わせ事項をもとに、望ましい行動として『若葉っこの暮らし』を作成しています。」と記しています。集団で生活するからこそ、みんなが気持ちよく過ごせるための「望ましい行動」としての「きまり」を、子どもたちは一生懸命考え、意見を表明してくれました。

(今年度改定前の掲載:参考 [704346071.pdf \(kumamoto-kmm.ed.jp\)](https://www.kumamoto-kmm.ed.jp/704346071.pdf))